

# お茶の水女子大学学報

第 36 号

お茶の水女子大学庶務課発行

## 目 次

関係法令	-----	1
学内規程	-----	1
人事	-----	1
学事	-----	4
通知	-----	7
日誌(抄)	-----	8
諸報	-----	8

## 関 係 法 令

### 【省 令】

○国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令  
(大蔵省令第54号, 10月6日官報)

○国有財産法施行細則の一部を改正する省令(大蔵省令第57号, 10月28日官報)

### 【規 則】

○初任給, 昇格, 昇給等の基準の一部を改正する規則(人事院規則9-8, 11月18日官報)

○大学の運営に関する臨時措置法に基づく職員の休職に関する規則(人事院規則11-6, 11月18日官報)

## 学 内 規 程

### ○お茶の水女子大学附属図書館文献複写規程

第1条 お茶の水女子大学附属図書館が受託する文献複写は、学内の部局等の依頼でその経費を移算するものを除き、この規程に定めるところによる。

第2条 前条の文献複写は、教育または研究の用に供することを目的とする場合に限って受託することができる。

第3条 文献複写を依頼しようとする者は、あらかじめ別紙様式による文献複写申込書を附属図書館

長に提出し、その承認を得なければならない。

第4条 前条の承認を得た者は、別に定める手続きにより、文献複写料金を前納しなければならない。

2 一度納付した料金は、これを還付しない。

第5条 文献複写料金は、別表のとおりとする。

### 附 則

1. この規程は、昭和44年10月8日から施行する。

別表 文献複写料金表

種 別	単 位	料 金		備 考
		学内	学外	
電子複写方式	1 枚	30円	35円	B列4判以下
送料は、実費とする。				

## 人 事

### ○人事異動

◎昭和44年10月22日

森 亘子  
文部教官(附属小学校教諭)に臨時的に任用する  
任期は昭和44年12月2日までとする

◎昭和44年11月1日

石和 貞男  
文部教官(講師理学部)に採用する

◎昭和44年11月10日

文部事務官(庶務課) 石川 芳夫  
文書係調査主任を命ずる  
文部事務官(会計課) 宮腰 泰憲  
管財係管理主任を命ずる  
文部事務官(厚生課) 今城 ハル  
厚生係就職主任を命ずる

◎昭和44年11月18日

文部教官（教授文教育学部）市古 宙三  
附属小学校長事務代理を免ずる

○学科主任・学内委員

◎昭和44年10月20日

教授 松元 文子  
食物学科主任を命ずる

教授 山西 貞  
食物学科主任を免ずる

◎昭和44年10月29日

教授 尾鍋 輝彦  
一般教育委員会委員長を命ずる

◎昭和44年11月12日

教授 中村 英勝

○非常勤講師

教授 阿阪 三郎  
同 松村 康平  
助教授 森 隆夫  
同 佐野 博敏  
同 湯沢 雅彦

制度検討第一委員会委員を命ずる  
任期は昭和45年11月11日までとする

教授 堤 精二  
同 津山 尚  
同 谷田 関次  
助教授 青木 和夫  
同 細矢 治夫  
同 五十嵐 脩

制度検討第二委員会委員を命ずる  
任期は昭和45年11月11日までとする

発令年月日	異動種目	氏名	所属	職名	任期又は任用予定期間の終期	本務その他
44. 10. 21	併任	平野 邦雄	文史	講師	45. 3. 31	文化庁
〃	〃	有末 武夫	文地	〃	〃	群馬大 助教授
〃	〃	竹内 啓一	〃	〃	〃	一橋大 〃
〃	〃	山鹿 誠次	〃	〃	〃	東京学芸大 〃
〃	〃	佐藤 久	〃	〃	〃	東大 教授
〃	採用	山本 正秀	文国	〃	〃	専修大 〃
〃	〃	伊地知鉄男	〃	〃	〃	早大 〃
〃	〃	国弘 正雄	文英	〃	〃	N H K同時通訳担当
〃	〃	東浦 義雄	〃	〃	〃	早大 教授
〃	〃	中野 照海	文教	〃	〃	国際キリスト教大 助教授
〃	併任	麻生 誠	〃	〃	〃	東京学芸大 助教授
〃	採用	中内 敏夫	〃	〃	〃	国学院大 〃
〃	〃	柴田 義松	〃	〃	〃	女子栄養大 〃
〃	〃	山住 正己	文音	〃	〃	日本女子経済短大 教授
〃	〃	山口 修	〃	〃	〃	武蔵野音楽大 講師
〃	〃	広岡 九一	〃	〃	〃	〃
〃	併任	松本千代栄	文体	〃	〃	東教大 教授
〃	〃	伊藤 金得	〃	〃	〃	東京農工大 〃
〃	〃	菅原 礼	〃	〃	〃	東教大 助教授
〃	〃	工藤 英三	〃	〃	〃	秋田大 教授
〃	採用	宇野 健吾	文共	〃	〃	都立大 助教授
〃	併任	稲本洋之助	〃	〃	〃	東大 〃
44. 9. 1	採用	蠟山 政道	文総	〃	〃	〃
44. 10. 21	〃	後藤 辰男	文仏	〃	〃	東洋大 教授

発令年月日	異動種目	氏名	所属	職名	任期又は任用 予定期間の終期	本務その他
44. 10. 21	採用	松尾 直美	文 独	講 師	45. 3. 31	
〃	〃	三井 孝美	理 数	〃	〃	学習院大 教授
〃	併 任	前原 昭二	〃	〃	〃	東教大 〃
〃	〃	高橋 恒郎	〃	〃	〃	〃 助教授
〃	〃	新納 文雄	〃	〃	〃	東大 教授
〃	〃	藤田 長子	理 物	〃	〃	〃 講師
〃	〃	高野 敬	〃	〃	〃	〃 助手
〃	〃	佐藤 浩	〃	〃	〃	〃 教授
〃	〃	中嶋 貞雄	〃	〃	〃	〃 〃
〃	〃	亀淵 迪	〃	〃	〃	東教大 助教授
〃	〃	品田 正樹	〃	〃	〃	電通大 〃
〃	採用	荒川 秀俊	〃	〃	〃	東海大 教授
〃	併 任	吉川 貞雄	理 化	〃	〃	東大 助教授
〃	〃	野田 春彦	〃	〃	〃	〃 教授
〃	〃	永井 裕	〃	〃	〃	東医科歯科大 教授
〃	〃	荒田 洋治	〃	〃	〃	東大 助教授
〃	〃	稲本 直樹	〃	〃	〃	東大 教授
〃	〃	広田 稜	〃	〃	〃	横浜国大 助教授
44. 11. 1	〃	今堀 和友	〃	〃	〃	東大 教授
44. 10. 21	採用	村田 好正	〃	〃	〃	学習院大 助教授
〃	〃	中原 勝儼	〃	〃	〃	立教大 〃
〃	併 任	大倉 興司	理 生	〃	〃	東医科歯科大 助教授
〃	〃	井上 隆吉	〃	〃	〃	埼玉大 教授
〃	〃	田口 茂敏	〃	〃	〃	科学技術庁
〃	〃	大滝 哲也	〃	〃	〃	国立予防衛生研究所
〃	採用	浦本 昌紀	〃	〃	〃	山階鳥類研究所
〃	〃	大島 康行	〃	〃	〃	早大 教授
〃	〃	一番ヶ瀬康子	家 児	〃	〃	日本女子大 〃
〃	〃	加勢 瑠璃子	〃	〃	〃	
〃	併 任	森田 宗一	〃	〃	〃	東京家庭裁判所
〃	〃	藤巻 正生	家 食	〃	〃	東大 教授
〃	〃	養田 泰治	〃	〃	〃	〃 〃
〃	〃	古賀 正三	〃	〃	〃	〃 〃
〃	〃	山田 浩一	〃	〃	〃	〃 〃
〃	採用	石川松太郎	〃	〃	〃	和洋女子大 教授
〃	〃	桜井 芳人	〃	〃	〃	日本女子大 〃
〃	任用更新	寺元 芳子	〃	〃	〃	和洋女子大 助教授
〃	〃	渋谷 裕子	家 被	〃	〃	山脇学園短大 講師
〃	採用	石毛フミ子	〃	〃	〃	都立立川短大 教授
〃	〃	岡崎セツ子	附 高	〃	〃	
44. 10. 1	〃	小林 倫子	〃	〃	〃	

発令年月日	異動種目	氏名	所属	職名	任期又は任用 予定期間の終期	本務その他
44. 10. 1	採用	天野 信一	附中	学校医	45. 3. 31	東外大 助教授
44. 11. 11	辞職	中村 真弓	附小	講師	〃	
44. 11. 12	採用	井上 和代	〃	〃	〃	
44. 10. 20	併任解除	岩崎 力	文仏	〃	〃	
44. 12. 1	採用	白井 俊清	厚	学校医	〃	

## ○非常勤職員

発令年月日	異動種目	氏名	所属	職名	任期又は任用 予定期間の終期	本務その他
44. 9. 18	採用	谷 浩子	文・地	技術補佐員	45. 3. 31	会計課から 時間給から日給へ
44. 10. 11	〃	中島光枝子	庶務課	事務補佐員	45. 3. 24	
44. 10. 8	〃	磯村 安則	会計課	〃	〃	
44. 11. 20	〃	安食 繁秀	施設課	技能補佐員	45. 3. 31	
〃	〃	斉藤 清一	〃	臨時用務員	〃	
44. 11. 1	配置換	石引 充	厚生課	技能補佐員	45. 3. 24	
44. 10. 1	採用	杉本 良子	文地	教務補佐員	45. 3. 31	
〃	任用更新	森 多美子	理物	〃	44. 10. 14	
44. 10. 15	配置換	〃	〃	〃	45. 3. 24	
44. 10. 31	辞職	榎田 正子	家児	〃	〃	
44. 10. 21	採用	若村 育子	家食	〃	45. 3. 31	
44. 11. 28	〃	渡辺 紀子	家被	〃	〃	

~~~~~

## 学 事

~~~~~

## ○昭和45年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程）学生募集要項（抄）

## 1. 専攻名および募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲学専攻	6	日本文学専攻	8
史学専攻	8	中国文学専攻	4
		英文学専攻	8
地理学専攻	6	教育学専攻	12

## 1. 出願期日

2月2日（月）から2月20（金）まで

3. 選考期日・日時割

- (1) 選考期日 45年2月24日(火) および同25日(水)
- (2) 筆記試験・口述試験

専攻名	筆記試験科目(2月24日)		口述試験	備考	
	外国語	専門科目			
哲学専攻	10:00~11:30 英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。 ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。	13:00~15:00 哲学・倫理学・美学美術史のうち2科目選択	2月24日(火) 15:30~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること	
史学専攻		日本史学	13:00~15:00 日本史学	2月24日(火) 15:30~	
		東洋史学	東洋史学		
		西洋史学	西洋史学		
地理学専攻		13:00~15:00 地理学	2月25日(水) 10:00~		
日本文学専攻		13:00~15:00 国語学および国文学	2月24日(火) 15:30~		
中国文学専攻		13:00~15:00 中国語学および中国文学	2月25日(水) 10:00~		
英文学専攻		13:00~15:00 英語・英語学および英米文学	2月24日(火) 15:30~		
教育学専攻		13:00~16:00 教育史・教育心理学のうち、いずれか1科目選択 論文	2月25日(水) 10:00~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること	

注 イ、上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ、口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行なう。

ハ、哲学専攻・教育学専攻志望者で学士論文を提出できない事情のある者はその旨申し出ること。

ニ、教育学専攻志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

4. 合格者発表

合格した者には昭和45年2月28日(土)午後、本人に通知すると共に学内にその氏名を掲示する。

○昭和45年度お茶の水女子大学専攻科学生募集要項(抄)

1. 専攻科名および募集人員

専攻科名	専攻名	募集人員	備考
文教育学専攻科	体育学・音楽学専攻	若干名	

2. 出願期日

2月2日(月)から2月20日(金)まで

3. 選考期日・日時割

学科試験・口述試験(このほか実技を行なうことがある) 2月24日(火)

専攻別	日時	10.00~11.30 外国語	13.00~15.00 学科筆記試験	15.10~16.10
体育学 音楽学 専攻	体育学を主とするもの	英・独・仏の内1か国語	体育学 生理衛生学	口述試験
	音楽学を主とするもの	〃	音楽学 音楽教育学	

4. 合格者発表 2月28日(土)午後本学内に掲示するとともに、本人に通知する。

○昭和44年度科学研究費補助金決定一覧

研究課題	研究担当者			決定額 千円
	所属	職	氏名	
Mössbauer 効果による K-捕獲後の過渡現象の研究	理学部	助教授	伊藤 厚子	7,170
食品の香気に関する研究	家政学部	教授	山西 貞	8,340
固体物質の物性と分子内および分子間結合状態に関する メスバウアー分光学的研究	理学部	助教授	佐野 博敏	6,300
幼児の attachment behavior に関する比較心理学的研究	家政学部	助教授	浅見千鶴子	350

研 究 課 題	研 究 担 当 者			決 定 額
	所 属	職	氏 名	
ムコ多糖の比較生化学的研究 (一般研究 B) 5件	理 学 部	教 授	阿武喜美子 計	260 22,420
海産動物の配偶子形成と先体の構成物質について 土地の自然的要因(とくに微地形構造)および土地利用 に関する地理学的研究 直接染料型ケイ光増白染料の光退色機構 人格の形成過程と保育に関する組織的基礎研究 (一般研究 C) 4件	理 学 部 文教育学部 家政学部 家政学部	助 手 教 授 教 授 助 教 授	渡辺 洋子 松井 勇 矢部 章彦 津守 真 計	420 900 850 390 2,560
労働者教育史の比較研究——日本と英国—— 東西ドイツ教育の比較教育学的研究 ——教育における資本主義と社会主義—— 有限次元および無限次元多様体 化学物質のラセン形高次構造に関する研究 澱粉及び澱粉誘導体とリジン利用率との関連性 調理による食品組織の変化について 立体写真法による着衣基体の形態的研究 (一般研究 D) 7件	文教育学部 〃 理 学 部 〃 家政学部 〃 〃	助 教 授 〃 助 教 授 教 授 助 教 授 〃 助 手	宮坂 広作 森 隆夫 高村 幸男 立花 太郎 五十嵐 脩 吉松 藤子 長谷部ヤエ 計	120 120 200 310 70 100 100 1,020
アスコルビン酸及びアスコルビン酸誘導体の代謝に関する研究 (一般研究 継続) 1件	家政学部	教 授	稲垣 長典 計	350 350
社会教育法制の総合的研究 イギリス議会政治体制の歴史的展開 近代日本中国語文研究教育史の研究 原子分子の電子状態の理論的研究——電子計算機利用による—— 環状有機化合物の合成に関する基礎的研究 染色系の界面化学的性質とその応用 米の食物学的研究 (総合研究 A) 7件	文教育学部 〃 〃 理 学 部 理 学 部 家政学部 〃	教 授 〃 助 教 授 教 授 教 授 〃 〃	吉田 昇 中村 英勝 戸川 芳郎 石黒 英一 塩田三千夫 矢部 章彦 稲垣 長典 計	1,400 1,400 1,370 2,500 2,820 2,600 1,120 13,210
学習と発達の相互作用と児童・生徒の発達の可能性につ いての教育心理学的研究 メスbauer分光学の基礎と応用 (総合研究 B) 2件	文教育学部 理 学 部	教 授 〃	小口 忠彦 立花 太郎 計	710 520 1,230
気候変化の水収支に及ぼす影響 (特定研究) 1件	文教育学部	教 授	渡辺 光 計	2,200 2,200
Langage Echo Systemの言語心理学的根拠とプログラ ミングについて (奨励研究 B) 1件	文教育学部 附属高等学校	教 諭	長命 俊子 計	100 100

# 通 知

○昭和45年度科学研究費補助金公募について

必要書類等一覧表

研究の種類	学内締切	必 要 書 類	提出部数
がん 特 別 研 究 特 定 研 究		がん特別研究・特定研究計画調書 { 甲 乙 (研究代表者または研究担当で作成) 承諾書(がん特別研究(1)・特定研究(1)の 場合は、研究代表者と異なる機関に所 属する研究分担者のみ) (研究代表者作成) がん特別研究・特定研究計画調書一欄 (研究機関代表者作成)	2 1 左記括弧書き の研究者ごと に 1 2
		一 般 研 究 計 画 調 書 一 般 研 究 カ ー ド 整 理 票 (以上研究担当者作成) 一 般 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	3 1 3 2
一 般 研 究	1月8日(木)	一 般 研 究 計 画 調 書 一 般 研 究 カ ー ド 整 理 票 (以上研究担当者作成) 一 般 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	3 1 3 2
奨 励 研 究 (A)		奨 励 研 究 (A) 計 画 調 書 奨 励 研 究 (A) カ ー ド 整 理 票 (以上研究担当者作成) 奨 励 研 究 (A) 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	3 1 3 2
総 合 研 究 (A), (B)		総 合 研 究 (A), (B) 計 画 調 書 承 諾 書 総 合 研 究 (A), (B) カ ー ド 整 理 票 (以上研究代表者作成) 総 合 研 究 (A), (B) 計 画 調 書 一 覧 (研究機関長作成)	3 1 1 3 2
試 験 研 究	1月21日(水)	試 験 研 究 計 画 調 書 承 諾 書 (試験研究(1)の場合のみ) 試 験 研 究 カ ー ド 整 理 票 (以上研究代表者作成) 試 験 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関長作成)	3 1 1 3 2

	種 類	学内締切	必 要 書 類	提出部数
研究成果 刊 行 費	学術定期 刊 行 物	1月8日(木)	学 術 定 期 刊 行 物 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 整 理 カ ー ド 最 新 刊 の 学 術 定 期 刊 行 物 等 会 則 規 約 等 (学会等の代表者作成)	1 1 1 1 1
	学術図書		学 術 図 書 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 整 理 カ ー ド 原 稿 の 見 本 (原稿用紙 4, 5 枚程度) (著作権者作成)	3 1 1 1
	二 次 刊 行 物		二 次 刊 行 物 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 整 理 カ ー ド 最 新 刊 の 二 次 刊 行 物 また は 原 稿 の 見 本 (原稿用紙 4, 5 枚程度) 会 則 規 約 等 (二次刊行物の刊行者作成)	1 1 1 1 1

## 日 誌 (抄)

- 10月1日(水) 教授会(理・家), 研究科委員会(理), 学寮委員会, 大学院合格者発表(理), 大学院入試(家)
- 2日(木) 学生委員会, 学生会館臨時運営合同委員会
- 3日(金) 学寮協議会
- 3日(金) } 前期試験
- 9日(木) }
- 6日(月) 予算委員会, ヘルスセンター運営委員会
- 8日(水) 評議会, 教授会(家), 昭和44年度卒業・修了予定者に対する健康診断
- 9日(木) 大学院合格者発表(家)
- 11日(土) } 前期末休業
- 20日(月) }
- 11日(土) } 幼稚園教育実習
- 25日(土) }
- 12日(日) 附属中・小・幼運動会
- 17日(金) 学寮委員会, 学寮協議会
- 20日(月) 施設計画委員会, 学生委員会, 図書館運営委員会, 臨時学生大会
- 22日(水) 各学部教授会
- 24日(金) 学寮委員会
- 28日(火) 学寮委員会, 学寮協議会, 学生会館臨時運営委員会
- 29日(水) 評議会, 学生委員会, 学寮委員会
- 30日(木) 学寮委員会, 拡大学寮協議会
- 31日(金) 教育実習委員会, 協力校連絡会議, 後期授業料免除選考委員会
- 11月4日(火) 学寮小委員会, 臨海実験所設立準備委員会
- 5日(水) 各学部教授会, 研究科委員会(理)
- 6日(木) 体育祭
- 7日(金) 学生委員会, 学寮委員会, 学寮協議会
- 10日(月) 学寮委員会, 学寮協議会
- 12日(水) 評議会, 学生委員会, 学生連絡協議会, 教職課程・教育実習委員会 第49回東京地区国公立大学厚生補

## 導部課長懇談会

- 11月13日(木) 学寮委員会, 学寮協議会, 学生連絡協議会
- 14日(金) 予算委員会, 学生会館臨時運営委員会, 昭和45年度日本育英会・大学院予約奨学生選考会議
- 17日(月) 臨時評議会
- 18日(火) 予算委員会, 学生委員会, 学寮委員会, 学寮協議会, 第34回関東甲信越静地区国立学校施設部課長会総会
- 19日(水) 各学部教授会, 研究科委員会(理)
- 20日(木) 臨時評議会, 制度検討委員会
- 21日(金) 学生委員会, 日本育英会一般貸与奨学生(1年2次)選考会議
- 22日(土) 永年勤続者表彰式
- 22日(土) } 德音祭
- 23日(日) }
- 24日(月) 学生委員会, 学寮委員会
- 25日(火) 附属高等学校長選考委員会
- 26日(水) 評議会, 学寮委員会, 学寮協議会
- 27日(木) 学生委員会
- 28日(金) 学寮委員会, 学寮協議会, 国立17大学理学部長会議
- 29日(土) 創立記念日

## 諸 報

### ○叙勲

本学名誉教授飯本信之氏は, 11月3日「秋の叙勲」で, 勲3等旭日中授章を授与された。

### ○海外出張

理学部助教授 米田 満樹

ナポリ臨海実験所において海洋生物の研究, 神経生理学研究センター, ミドルセックス病院医学部およびストックホルム大学において細胞生物学の研究のため, イタリア, フランス, 連合王国, スウェーデンの各国へ出張中。

期間は昭和44年10月29日から

昭和45年4月30日まで



## ○海外研修旅行

家政学部教授 稲垣 長典

ヨーロッパ諸国における家政学ならびに（家政学）教育の現況調査、研究のため、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スイスの各国へ出張する。

期間は昭和44年12月22日から

昭和45年1月6日まで

## ○帰国

家政学部教授 平井 信義

第4回国際治療教育学会出席ならびに欧州各地の児童教育研究のため、デンマーク、スウェーデン、連合王国、フランス、ドイツ、スイス、イタリア、オーストリアへ出張中のところ、昭和44年10月2日帰国した。

理学部助教授 清水 幹夫

惑星大気の協同研究に関する打合せおよびマルファ国際天文連合惑星大気シンポジウム40に出席のため、アメリカ合衆国へ出張中のところ、昭和44年11月3日帰国した。

文教育学部教授 勝部 真長

昭和44年度総理府「青年の船」の団長として、中華民国、タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア、ビルマへ出張中のところ、昭和44年11月18日帰国した。

文教育学部教授 和田 久徳

昭和44年度総理府「青年の船」の教官として、中華民国、タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア、ビルマへ出張中のところ、昭和44年11月18日帰国した。

## ○志賀高原体育運動場宿泊棟新営工事

本年8月に従来の木造宿泊棟を取りこわし、その跡地に鉄筋コンクリートで建設中ですが、本年度は躯体工事のみで、完成は昭和46年3月の予定。規模は2階建。延、328.68<sup>m</sup>²

## ○職員住所

【新・転任者住所】

## 【住所変更】

## 【住居表示変更】

## ○職員の電話架設

## ○電話番号変更

☆…………… 共 済 組 合 だ よ り ……………☆

健康保険法及び船員保険法の臨時特例に関する法律が昭和44年8月31日で失効になり、療養の際の薬剤の一部負担金が昭和44年9月1日から免除されることになりました。

関係法令追加

関係法令

【法律】

- 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（法律第72号，12月2日官報号外）

【規則】

- 現行の法律，命令及び規則の廃止の一部を改正する規則（人事院規則1-4，12月2日官報号外）
- 初任給，昇格，昇給等の基準の一部を改正する規則（人事院規則9-8，12月2日官報号外）
- 暫定手当の一部を改正する規則（人事院規則9-22，12月2日官報号外）
- 通勤手当の一部を改正する規則（人事院規則9-24，12月2日官報号外）
- 特殊勤務手当の一部を改正する規則（人事院規則9-30，12月2日官報号外）
- 初任給調整手当の一部を改正する規則（人事院規則9-34，12月2日官報号外）
- 最高号俸をこえる俸給月額を受ける職員の昭和42年改正法附則第14項の規定に基づく俸給月額の一部を改正する規則（人事院規則9-50，12月2日官報号外）
- 最高号俸等を受ける職員の俸給の切替えに関する規則（人事院規則9-52，12月2日官報号外）

諸報

○給与法の一部を改正する法律等について

給与給の一部改正については，12月2日公布，施行され，6月1日から適用されることとなった。内容の概要は，人事院勧告（学報第35号既報）とおりであるが，これの実施等に伴って次の点も改められた。

【扶養手当関係】

1. 次の場合は新たに届出が，必要となった。
  - イ) 扶養親族の子を有する職員が，配偶者を欠くこととなった場合
  - ロ) 扶養親族の子を有する職員が，配偶者を有することとなった場合
2. 扶養親族たる要件の一である年間所得限度額が，14万7千円（従来12万8千円）に引き上げられた。（該当者がある場合は，所定の手続きをしてください。）

【通勤手当関係】

運賃等相当額の算出にあたっては，1か月定期券の額（従来は，3か月定期券の額の3分の1）を基礎とすることとなった。